

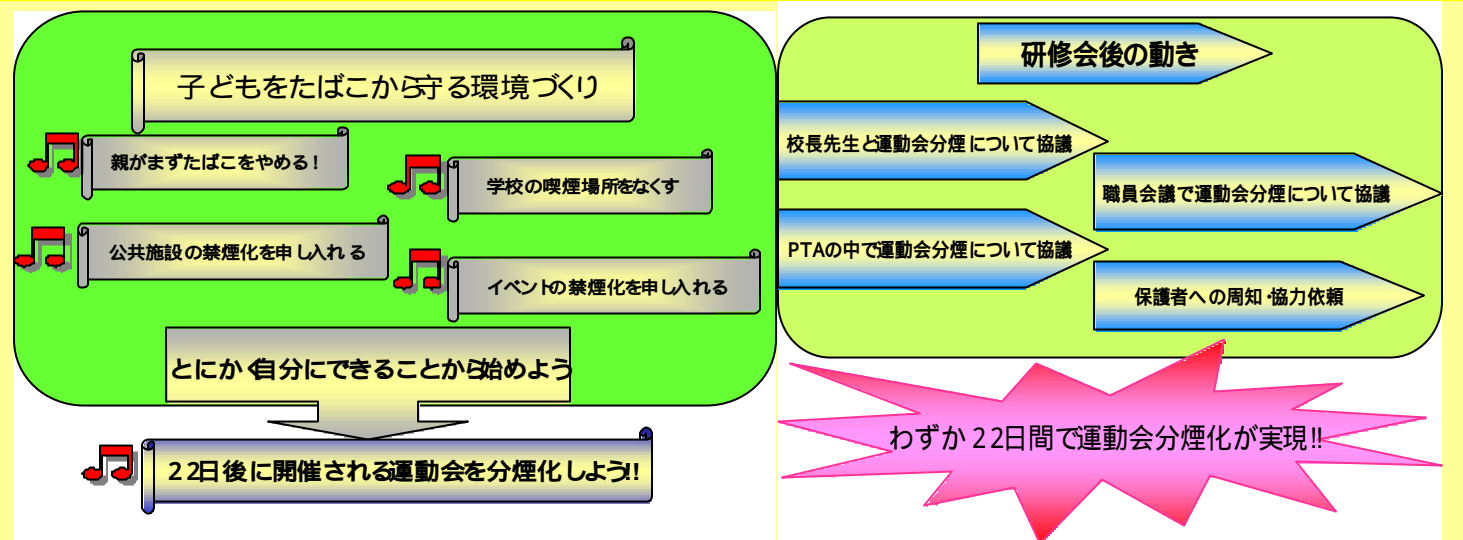
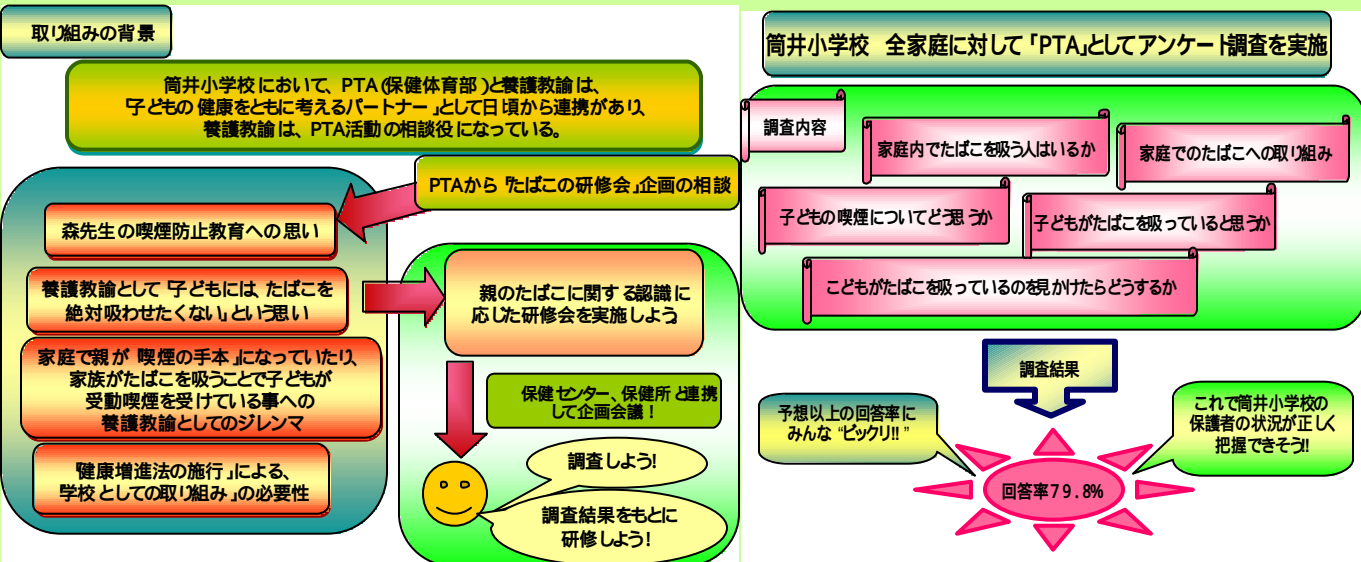


保健所からのひとこと!

新年があけて、3学期には学校保健委員会が開催される学校が多いのではないのでしょうか。子どもの喫煙防止には学校だけでなく親(P.T.A)や地域が連動して取り組む必要があります。学校保健委員会はP.T.Aの代表や地域の代表者が参加される事が多いので是非「子どもの喫煙防止」について協議していただきたいと思います。

今回はP.T.Aと連動した動きによりスムーズに運動会分煙化を実現された「大和郡山市立筒井小学校の取り組み」について紹介させていただきます。

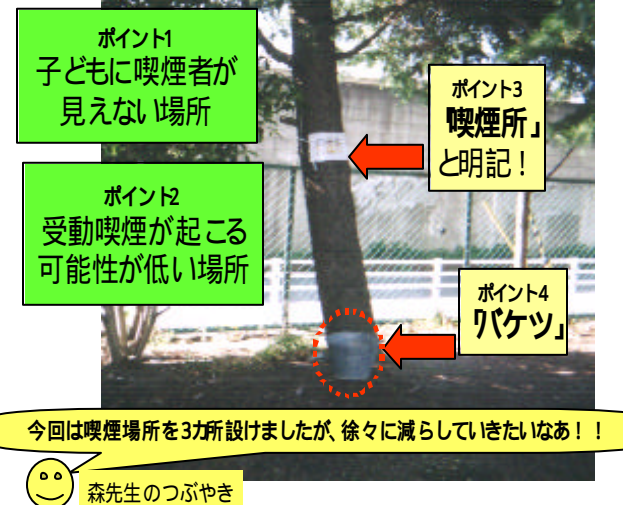
「PTAと学校が連携して取り組んだ運動会分煙化の動き」(報告者:森 紀子先生)



その結果、研修会は「子どもにたばこを吸わせない、受動喫煙の害から子どもを守るためにPTAとして何をすべきか」を問題提起する場となりました。研修会終了後に、「PTAとして、学校として、やれるところから何かをやらない!」ということになり、「運動会をまず分煙にしよう!」ということになりました。校長先生がこの研修会に参加して下さっていたことで、運動会分煙化に向けた協議がスムーズに運び、わずか22日間という短期間で「運動会の分煙化」が学校とPTA協働のもと実現しました。

筒井小学校「運動会分煙化のコツ」をまとめてみました。

喫煙場所設定のポイント

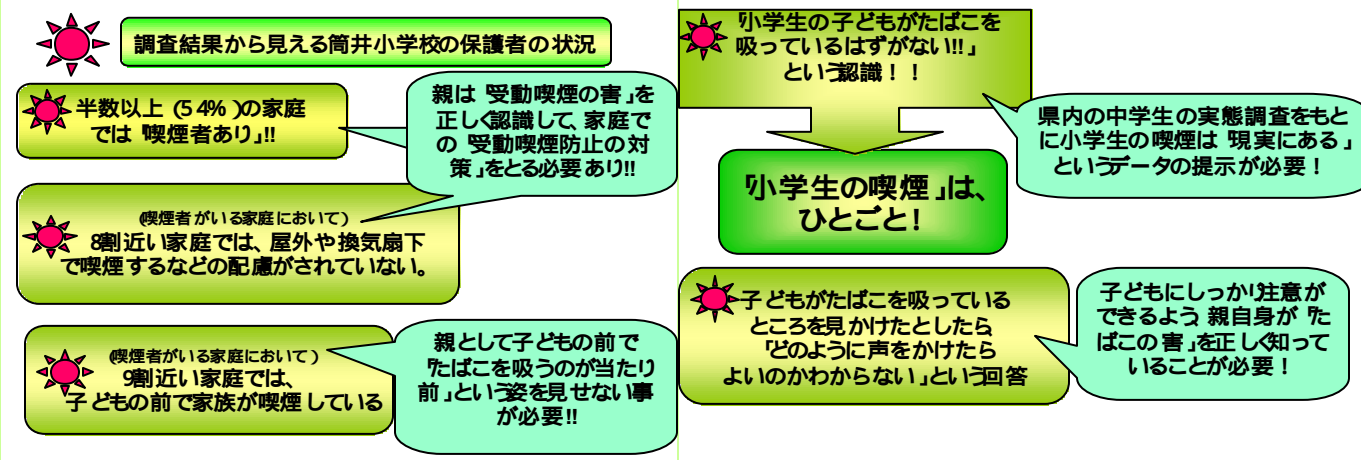


運動会分煙化の「コツ」

- PTA役員会で分煙化の提言
- 校長挨拶、「PTA会長挨拶」諸注意でも紹介
- プログラムに「分煙」
- 掲示を徹底
- 腕章を付けた保健体育部が巡回
- 帽子を脱ぎつつ、にこやかに、丁寧な言葉で喫煙所への移動をお願い



大和郡山市立筒井小学校 PTA(保健体育部)が保護者対象の「たばこに関する研修会」を企画する際に、学校 PTA・大和郡山市保健センター 保健所が連携して企画することになりました。親のたばこに関する思いや、喫煙状況を把握した上で、課題にあった研修会を実施することになり PTA が全家庭に対してアンケート調査を行いました。



調査結果から、筒井小学校の親の喫煙状況、「たばこへの思い」、家庭における受動喫煙の状況などが浮き彫りになりました。「たばこに関する研修会」では、調査で明らかになった親の課題に焦点をあて、「たばこの害、特に受動喫煙の害について」、子どもの喫煙の実態、子どもにたばこを吸わせないための環境づくり」について伝えました。

前年度までの運動会では自由に喫煙できたため、運動会終了後たばこの吸い殻があちこちに捨てられていた筒井小学校ですが、今回はみごとに吸い殻のポイ捨てがありませんでした。分煙に対する保護者や来賓からのクレームもありませんでした。PTAと学校が「子どもたちをたばこから守る環境づくりの必要性」を合意形成することで、スムーズな運動会の分煙化が可能となりました。今回の取り組みをもとに「子どもにたばこを吸わせないために学校は何をすべきか、親は何をすべきか」をPTAと学校が協働して考え、できるところから「環境づくり」を行っていく予定です。